

経営比較分析表（令和6年度決算）

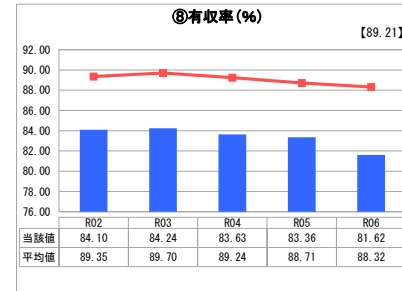
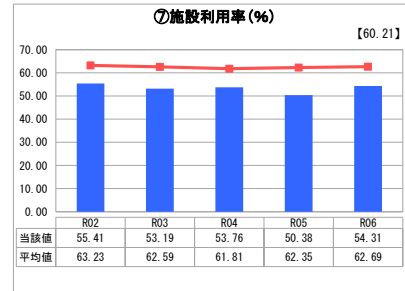
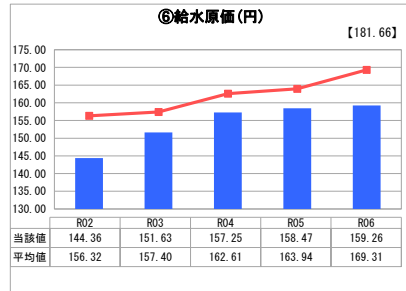
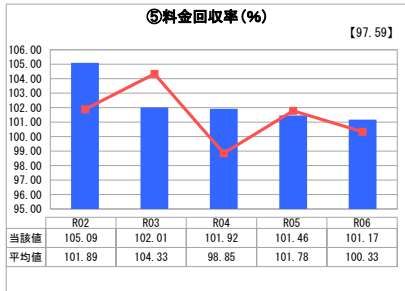
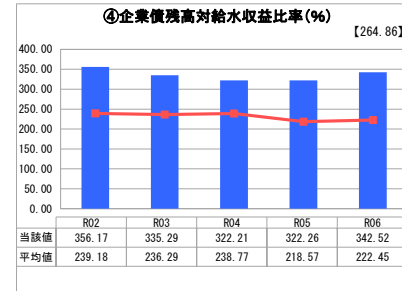
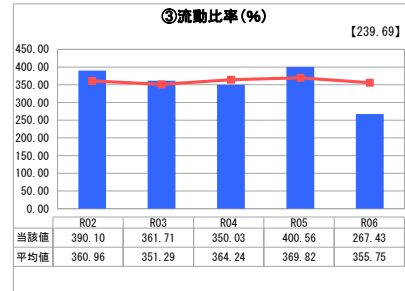
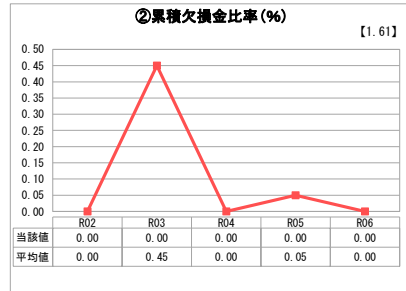
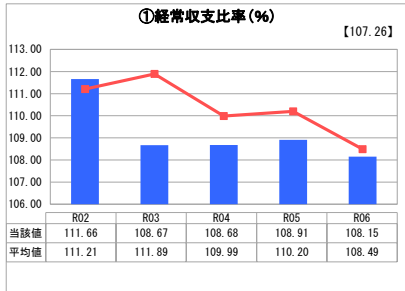
長野県 上田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)	
-	70.60	85.22	2,862	

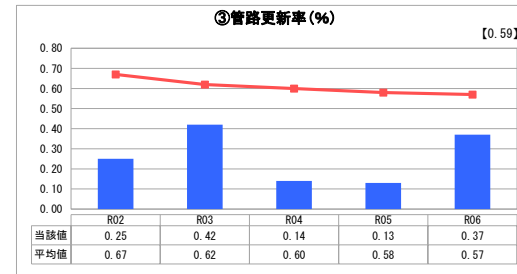
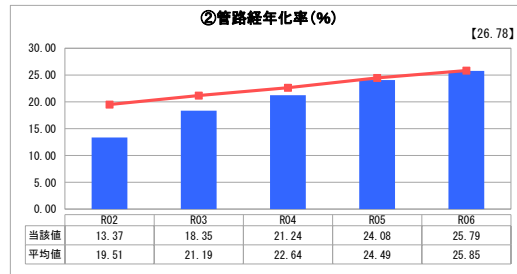
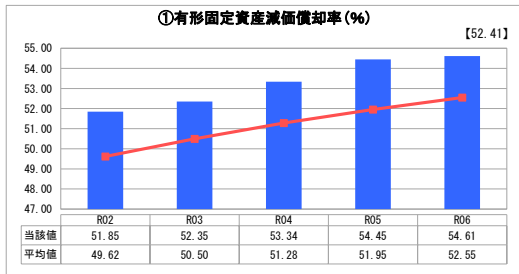
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
151,540	552.04	274.51
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
128,778	117.73	1,093.84

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超え、累積欠損比率が0%であることから、経営の健全性は保たれていると考えられます。
 流動比率は令和5年度に比べ低下しましたが、短期的な支払能力である100%を維持しています。しかし、悪化傾向にあるので改善の必要があります。
 企業債残高対給水収益比率は、減少傾向であったが、施設の更新費用、修繕費用のための借入が増えたため上昇しています。
 給水原価は小幅な上昇であるが、施設の老朽化が進む中、今後も上昇が見込まれる。
 施設利用率は、令和5年度に比べ上昇したが、配水能力に余剰が生じています。
 有収率は、令和5年度まではおおむね安定的に推移していたが、低い数値のため漏水調査等を進める必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年率はともに増加傾向にあり、施設の老朽化が進み、法定耐用年数を超える管路が増えています。
 管路更新率は、経年管路を中心に布設工事を進めたため、数値は上昇しましたが、今後も計画的に管路等の更新を行う必要があります。

全体総括

現状では健全経営を維持できているが、施設の更新費用、修繕費用の増加が見込まれます。
 老朽化している施設はアセットマネジメント等に基づく計画的な更新や配水能力に余剰が生じている施設については、ダウンサイジング等により施設規模の適正化を図っていきます。
 有収率の低さについては漏水調査等により有収率の向上を目指していきます。